

オンライン調査を導入していない理由について

現在、調査員調査または郵送調査を実施している調査において、オンライン調査を導入していない理由については以下のとおり。

① 調査対象に関する理由

- ・対象客体数が少ない。
- ・零細企業を対象としている。
- ・小規模事業所を対象としている。
- ・自身で操作できる情報端末を備えた環境にない被調査者が多数想定される。
- ・中高年を対象としている。
- ・調査対象が毎年変わる。
- ・調査に対する理解度や調査法の記入能力などにばらつきがあるため、調査員によるフォローが必要である。

② 調査周期に関する理由

- ・不定期調査である。
- ・テーマローテーション調査である。
- ・調査周期が長い。

③ 調査項目に関する理由

- ・調査の度、調査項目の見直しを行う必要がある。
- ・調査項目が多岐に渡る。
- ・調査項目が複雑であり、調査員による説明が必要である。
- ・回答データの容量が大きい。
- ・秘匿性の高い調査項目が多いため、セキュリティの観点から被調査者にとってオンライン化の抵抗が大きい。

④ その他の理由

- ・電子調査票の開発には多くの費用を要する。
- ・電子調査票の開発期間を確保するため、調査票そのものの企画を相当前倒しする必要がある。
- ・システム作りに加え、セキュリティ対策費用等までが必要である。

- 後続調査として実施されているため、主調査との同質性を確保する必要がある。
- 調査方法を変更した場合の回収率の低下が懸念される。
- 専門職による身体状況の実測等が必要であるため、他の調査方法では実施できない。
- 調査対象者が調査対象から外れた場合には、直ちに調査対象を新たに補充する必要があるが、オンライン調査では迅速な対応ができない。